

ONAIR

NO. 122

放送大学通信 オン・エア

発行月 2016年6月

発行 放送大学

〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11
043-276-5111 (総合受付)

CONTENTS

学位記授与式	1
放送運行の舞台裏	7
まなびと学習センターをめぐる	8
学習センターサークルだより	10
研究室だより	11
若者の集いレポート	12
就任のごあいさつ	13
2015/16年度 開設・改訂科目紹介	16
インフォメーション	24



2015年度

学位記授与式が行われました

2016年3月26日、2015年度学位記授与式がNHKホールにおいて挙行されました。堂故茂文部科学大臣政務官、吉田眞人総務省大臣官房審議官をはじめとするご来賓の方々のご臨席のもと、岡部洋一学長から卒業生総代・修了生総代に卒業証書・学位記が授与された後、学長が式辞を、卒業生・修了生の代表が謝辞を述べました。

さらに、名誉学生の表彰、「教育功績賞」を受賞された近藤智嗣教授の表彰、「放送大学優秀授業賞」を受賞された高橋和夫教授の表彰、最後は、学長指揮による学歌斉唱で2015年度の学位授与式は幕を閉じました。

学長式辞

学長 岡部 洋一

本日、めでたく卒業を迎えられた卒業生の皆さん、また修士論文をまとめられ、修士課程を修了された皆さん、ご卒業おめでとうございます。本学の教職員を代表して、心からお喜び申し上げます。また、皆さんをずっと支えてこられたご家族、友人の方々も多数お見えかと存じます。どうか、皆さんで卒業の喜びを分かち合っていたいただきたいと思います。

また、本日は、文部科学大臣政務官、総務省大臣官房審議官を始め、多数の来賓の方々をお迎えし、かくも盛大な学位授与式を挙行できました。誠にこの上ない喜びであります。

本学は、誰にでも開かれた生涯学習を目的とした大学として約30年前に設置され、放送やインターネットによる授業および全国各都道府県に設置された学習センターで行われる面接授業により、いつでもどこでも比較的容易に勉学ができるという特長を持っています。しかし、こうした生涯学習では、仕事



や家事を持った方も多く、その関係で両立が難しかったり、全国展開しているとは言っても、北海道のような広い地域、島嶼部のような地域では学習センターまで出向くのに大変な時間や経費を必要とします。一部には、職場や家庭といった周囲からの理解が得られず、苦勞された方の話も伺っております。また、高齢にも関わらず勉学を続けておられる方も



岡部 洋一 放送大学長



学長と理事長を交えて来賓と総代の方々



大学院総代 波平百合香さん

いらっしゃいます。さらに、本学には一般大学に比べ障がいのある人も多数入学されています。こうした環境にもめげず、本日、卒業や修了にまで至られました。

第一に、このことに改めて敬意を表すると共に、ぜひ皆さん自身で「自分を褒めていただきたい」。また、ご家族や友人の方もぜひ一緒に喜びを分け合っていたいただきたいと思います。

さて、放送大学は教養を教えている大学です。本日の卒業に当って皆さんの学んできた教養について改めて考えてみていただきたいと思います。一般には、教養というと多くの大学で一年生、二年生に学ぶ一般教養を想像される場合が多いと思います。しかし、本学では4年間相当分の学びをしているのです。その分、何が勉強できたのでしょうか。日本の多くの大学では短期間に教養科目を学んだあと、直ちに何々学部何々学科という専門性は高いが比較的狭い領域の科目の修得に移行します。一方、本学では専門科目も、局所的でなく大局的であるといえま

しょう。日本の多くの大学が、樹木に例えれば、背の高い樹を目指しているのに対し、本学は、背はそれほど高くないかも知れないが太い樹を目指しているのです。そのことを再認識していただきたいと思っています。

私の個人的見解ですが、日本ではこの大局的な学習が不足しているように思われます。もちろん、特定分野に特化した教育も重要です。私の趣味の一つに登山がありますが、登山では広域の地形が頭に入っていない人は簡単に道に迷います。また、最近よく国際性の話がされますが、外国人と付き合ってみると実に色々な分野の知識に長けています。狭い専門知識だけではとても彼等と対等な付き合いはできません。海外では、教養教育の重要性がよく理解されているのです。その意味で、国際性の議論に英語教育の重要性ばかりが強調されがちですが、もっと教養教育に関する議論が必要と思っています。

さらに、特に企業人から大学へ出される要望の一つに、「即戦力に役立つ教育を」というものがあります。ところが、企業で働いている人々に、今学びたい講義を尋ねてみると、ほとんどが色々な専門分野の基礎となる講義、つまり専門教養であるとも聞いています。実は、今直ぐに仕事に役立つような講義より、じわりと役に立つ教育が望まれているのです。

改めて「本学の卒業生であることに、誇りを持っていただきたい」と思います。これが第二に申し上げたいことです。ただし、学んだことをしっかりと身に付けておいてください。少なくとも自分が興味を持った分野については、その分野の概観はできるようになっているはずなので、必要を感じたときに改めて深く学び直し、常に前進するよう努力されることを



期待します。

最後に申し上げたいことですが、米国の多くの大学では、卒業式をcommencementと言います。その意味は「始まり」です。ここから新しい人生が始まることを祝う気持ちが込められています。「1円も、動かさざれば只の1円」という諺があります。1円をただ保有しているだけでは何の役にも立たない、使ってこそ意味がある、さらには、利殖にも通じるという意味です。せっかく得た教養も、それを使わなければ退蔵となるでしょう。得られた教養を職場や家庭や社会に生かしてこそ意味があるのです。ま

た、教養をひけらかすだけでは、もっとよくないと思います。やはり、教養は見せるよりは使うことに意味があります。また、使うことにより、さらなる力が付いていくのです。ぜひとも、本学で学んだことを生かして、社会に貢献するようにしてください。それが、正に生きた教養と言えます。

本学に在籍したことにより、力強く生きるすべ、したたかに生きるすべを得たのだ、それを力に他人に優しい、包容力のある人間になっていただきたいと念じて、改めて、おめでとうを申し上げ式辞といたします。

謝辞

教養学部卒業生代表
人間と文化コース 土井 まゆみ

本日はわたくしたち卒業生のためにこのような盛大な式典を挙げていただき、まことにありがとうございます。

わたしが放送大学に入学したのは今から二十二年前、一九九四年のことです。高校卒業後、会社勤めをする中で、高卒と大卒の間には何かおおきな隔たりがあると感じ、いつか自分も大学を卒業したいという夢を持ちました。働きながら正規の大学卒業資格が得られるという放送大学の魅力に魅かれ入学し、建て替え前の古い文京学習センターの校舎に通いました。当時はインターネットも普及しておらず、ビデオテープやカセットテープを視聴するためにセンターに通ったのです。入学の翌年、長男を授かりやむなく休学、その後次男も生まれ、引っ越した小平市で、ベビーカーを押して散歩中に多摩学習センターを見つけました。こんな近くに学習センターができていたなんて、ここならばきっとまたいつか復学できるかもしれないと、放送大学との不思議な縁を感じました。その後、子育てや仕事に追われ、実際に復学できたのは二〇一一年、休学から実に十六年後のことです。

復学後、多くのすばらしい先生方や仲間に出会うことができました。中でも三人の先生方との出会いが今私をこの場所に立たせています。一人目は「大学に入学したからにはぜひ卒業研究をやりなさい。」と面接授業で強く勧めて下さった文化人類学

のスチュアート本多先生です。

「卒業研究は自分の魂の糧になればよい。」と言われ、単位を取ることを考えていた私に新しい道を示して下さいました。二人目は多摩学習



センター面接授業講師の佐羽先生です。西洋絵画と言えど印象派しか知らない状態だったわたしを中世の絵画を卒業研究のテーマに選ぶほど西洋美術の魅力に惹きつけて下さいました。そして三人目は、卒論ゼミにおいて親切、丁寧なご指導をいただいた青山先生です。先生の言葉に背中を押され、研究対象の絵画を見るために思い切ってイタリアまで赴くことができました。現地で本物を目の前にした時の感動は忘れることができません。学問のために、遂に、ここまで来たのだ、という万感迫る思いに、涙がこみ上げてきたのが、昨日のことに思い出されます。青山先生のご指導のおかげで、長い文章を書いた経験がまったくなかった私にも最後まで卒業研究を書き上げることができました。

今まで卒業はゴールだと思って来ました。しかし、それは違っていました。きっと他の卒業生の方々も同じように感じているのではないのでしょうか。放送大学で学ぶことの大きな喜びを知ったわたしたちは、また次の目標や思いを胸にいただいています。この式が卒業式ではなく、学位授与式である意味を思い、魂の糧を増やすべく、また次の学習へと歩みを進めて行きたいと思います。

謝辞

修了生代表 坂本 彰
自然環境科学プログラム

本日はお忙しい中、岡部学長をはじめ諸先生方、ならびに御来賓の皆様にご臨席を賜り、このような盛大で心のこもった修了式を挙げて頂き、誠にありがとうございます。修了生一同心から御礼申し上げます。

私は、平成二十一年に定年退職と同時に放送大学に入学し、平成二十五年に教養学部を卒業、大学院選科生を経て、本日修士課程を修了するまで七年間、高知学習センターに在籍し、自然科学を中心に学んでまいりました。放送大学の自然科学に関する授業では、幅広く科学の現状、先端科学について学ぶことができました。断片的でなく、体系的に学べたことで、現在の自然科学について、理解を深めることができ、大変有意義な授業でした。それにもまして大きな影響を受けたのは、科学とは何かについて学べたことで、私の大きな財産となりました。学部生の時に履修した濱田嘉昭先生の「科学的な見方・考え方」の印刷教材は、大学院生になっても机のわきに置いて、常に読み返してきました。おかげで、教養学部の卒業研究、修士論文の作成にあたっては、慣れない実験器具の操作には苦労はしたものの、研究に対する姿勢は揺らぐことなく、指導教官の指導の下で計画どおり研究を遂行することができました。

修士課程では、自然環境プログラムで学ぶ多くの仲間と交流し、いろいろな学び方、研究へのアプローチがあることを知りました。仕事と並行して研究を行う仲間が多い中で、私は定年退職者という立場で、高知県が生んだ植物学者牧野富太郎にゆかりの

深い植物、バイカオウレンの研究に専念することができました。しかも、高知県立牧野植物園の二人の研究者から、形態的な分類学と、新しい、ゲノムを使った分子系統学に



ついて、親切的な、そして厳しい指導が受けられるという恵まれた環境で研究をすることができました。

また、研究に必要な材料の採集に当たっては、県内だけでなく、県外の多くの知人の協力によって、必要な情報や試料を収集することができました。その結果、円滑に研究を行うことができ、四国に分布するバイカオウレンについて、新たな知見を得ることができました。この間、ご指導いただいた先生方、ご協力いただいた多くの皆様はこの場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

私は、定年退職にあたって、退職に伴って生まれる時間を三つに分割し、学業と社会貢献活動、それに家庭生活に充てることを約束していました。学部生の時は約束どおり、それぞれの活動をバランスよく実行する生活ができましたが、修士課程になりますと学業と研究に偏って、社会貢献活動や家庭のことが少しおろそかになってしまいました。

この間、それを許していただいた、ボランティアの仲間や妻に対して心からお礼を申し上げたいと思います。

最後になりましたが、今後とも自己研さんに努めるとともに、放送大学で学んだことを活かして社会に貢献する活動にさらに精進していくことをお誓いいたしまして、謝辞とさせていただきます。



卒業・修了祝賀パーティーが 開催されました



今年もたくさんの卒業生・修了生が参加し、品川プリンスホテルにて卒業・修了祝賀パーティーが催

されました。

岡部学長と矢野同窓会連合会会長の挨拶にはじまり、退任される教員を代表して、五味文彦教授から挨拶をい



ただきました。そして宮野千葉学習センター所長指揮による「揚げば尊し」の合唱で退任される教員への感謝をお伝えした後、白井理事長による乾杯がありました。会場は卒業生・修了生の慶びと感謝の気持ちに包まれました。



全国の銘酒が振舞われました



茨城県郷土芸能 やんざ太鼓の演奏



卒業生・修了生 インタビュー

インタビュー

卒業を迎えてとても嬉しいです。そして学びの中で出会ったたくさんの人々に感謝しています。放送大学は通信制ということで、入学当初は他の学生との交流は考えていませんでした。しかし、入学してみると、学習センターで懐の広い先輩学生の皆様に暖かく迎えていただき驚きました。面接授業でも、所属センターはもちろんのこと全国各地の学習センターにお邪魔しましたが、行く先々で広い知識を持った学生の皆様、そして素晴らしい先生方と出会うことができました。自分は本当に運が良かったと感じています。皆さんのおかげで、自分だけでは得られなかった広い視野を持つことができました。それを活かし、今後も引続き研究と実践を続けていきたいと思っています。



滋賀学習センター
学部総代 小川 裕司さん

インタビュー

仕事と学びの両立、そして面接授業などの限られた時間の中で学んでいくことは大変でしたが、無事卒業を迎えることができました。卒業はしましたが、終わったということではなく、新たなスタートラインに立ったと感じています。電気通信関係の仕事をしておりますが、社会学や経済学を学ぶことで得た、景気の動向や社会変動を読む力で、仕事や社会に貢献したいと考えています。



秋田学習センター
鈴木 孝一さん

インタビュー

新町さん：卒業を迎えるにあたり、まだ心の整理がついていないのですが、放送大学は時間の都合をつけやすく、放送大学以外でも様々な活動をしてきた自分に向いていたと思います。今後は臨床心理士を目指します。

高橋さん：やっと卒業できたという気持ちです。4年で卒業すると決めていたので、その為に努力してきました。学んだことももちろんですが、目標を達成したことによる自信と自己管理能力を得ることができたと感じています。それを今後の人生で活かしていきたいです。



東京渋谷学習センター
高橋 紗緒里さん 新町 冴子さん

インタビュー

卒業できたことに「本当によくやった」と自分を褒めてあげたい気持ちです。仕事と学習と生活のバランスをとるのが大変でした。特に仕事が忙しく、どうしても学習の時間が取れないときなど、学習を持続するための緊張感が切れてしまいそうときがありました。そんなとき、タイミングよく面接授業に出席できたこと、学習センター職員の皆さんの支援を受けたことで、学びへの意欲を回復することができました。教育の仕事に携わっておりますが、今後は放送大学で学んだ成果を自分の生徒へ還元していきたいと考えています。



宮崎学習センター
大渡 祐司さん

インタビュー

8年かけて卒業しました。その間にはいろいろなことがありました。最初は科目を取りすぎてしまい、夜も眠らず勉強に励んだりしたことも思い出しますが、特に主人が亡くなり、家業の負担が増えることで学ぶペースを落とさざるをえなかったことは大変な困難でした。しかし、こうしてそういったことを乗り越え、自分の目標を達成できたこと、この良き日を家族と迎えられたことが、なにより嬉しく誇りに思います。そろそろ家業を後進に譲りたいと考えていますので、それができたら再入学し専門分野の資格を得て、その分野の仕事に就きたいと考えております。



岐阜学習センター
宮嶋 豊美さん

2015年度 名誉学生 (学生表彰)

名誉学生代表インタビュー

ここまでの道のりは、一言で言えば「楽しかった」です。自分でも不思議なのですが、つらいと思ったことはないです。様々なことに興味を持っていたことが幸いしてか、看護の仕事に沿った学びと好奇心でここまでまいりました。世界遺産の勉強をしたり、仕事とは関係ない資格をとってみたい、今は認知症に関連する資格をとってみたいと考えて

います。今回、名誉学生代表のお話をいただいたときは「どうして私が」と思いましたが、学位記授与式を終えて振り返ると、なんとか名誉学生の皆様の代表としての責務を全うできたかな、とほっとしています。



名誉学生代表
久徳 百合子さん

名誉学生一覧 (50音順、掲載許可を得られた方のみ)

学生氏名	所属学習センター
相沢 宏之さん	新潟学習センター
浅野 和子さん	東京渋谷学習センター
安部 和子さん	東京渋谷学習センター
有泉 幸彦さん	東京文京学習センター
石井 正義さん	千葉学習センター
今福 佐喜男さん	埼玉学習センター
上村 信子さん	大阪学習センター
河田 利夫さん	大阪学習センター
北野 康典さん	佐賀学習センター
久徳 百合子さん	東京足立学習センター
小山 裕さん	奈良学習センター
財満 征さん	東京足立学習センター
澤田 ソノさん	栃木学習センター

学生氏名	所属学習センター
谷 陸海さん	岐阜学習センター
辻 典子さん	石川学習センター
寺田 恵子さん	長崎学習センター
中丸 一良さん	神奈川学習センター
西野 敏男さん	神奈川学習センター
橋本 宏さん	長崎学習センター
橋本 好恵さん	大阪学習センター
平塚 純一さん	島根学習センター
藤石 文平さん	北海道学習センター
古川 保さん	群馬学習センター
宮本 義昭さん	埼玉学習センター
安田 十寸穂さん	徳島学習センター
吉田 啓子さん	神奈川学習センター

※名誉学生とは：教養学部の全てのコース(又は専攻)を修了した者で、かつ、人物、学習態度が良好である者に対し与えられる称号です。



放送大学 放送運行の舞台裏

放送大学の特徴のひとつとして、ラジオ、テレビによる放送授業があります。

制作については、収録風景や編集など想像できる部分が多いのではないかと思います。しかし、放送となるとどうでしょう。

そこで今回は、普段皆さんにご覧いただくことがない、放送運行の舞台裏について、放送部の職員に聞いてみました。

他のテレビ局との違いは？

A. 生放送がなく、コマーシャル也没有ありません

まず、全ての番組があらかじめ録画、録音されたものです。次に、放送大学は、①授業科目の番組 ②大学に関する告知番組を放送するための放送局として国から免許を受けているので、(スポンサーによる)コマーシャルやニュースはありません。



収録・編集を経て制作された番組は、光ディスクやコンパクトフラッシュカードといった記録媒体の形で、制作部から放送部に持ち込まれます。

持ち込まれた番組が放送される仕組みは？

A. コンピューターで自動的に放送するようプログラムします

記録媒体で持ち込まれた番組をコンピューターに取り込み、番組表に沿って放送できるようにプログラムします。取り込まれた放送番組は、番組表の編成に従い、コンピューターによって自動的に電波を発射する各送信所へ送り出されるのです。その際に、デジタルテレビジョン放送の特徴である、字幕放送、電子番組表(EPG)、データ放送を映像と音声に重ね合わせます。



字幕放送

電子番組表(EPG)



データ放送

BSラジオデータ放送



番組が安全に放送される仕組みは？

A. 訓練された職員が常時監視しています

主調整室では、「送り出す放送番組」及び「放送電波として受信した番組」に異常がないか、人間の目と耳や機械で常に確認しています。監視制御卓に座っている職員は、万一の事があっても放送番組に支障が出ないような様々な運用訓練を行っています。さらに、放送番組を送り出す設備は、万一の場合に備えて、2重・3重のバックアップ装置を設けています。

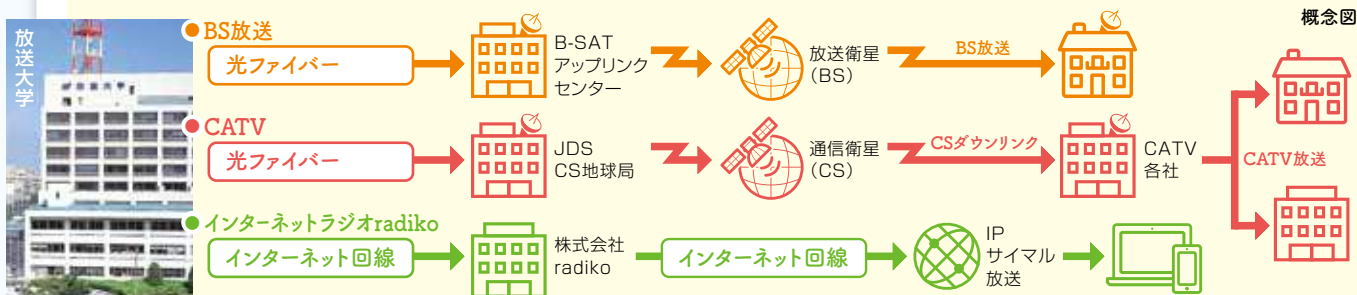


放送運行の中枢である主調整室と監視制御卓

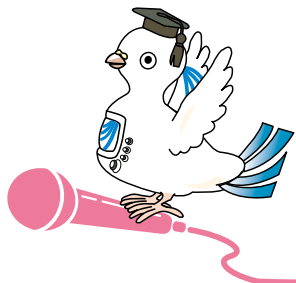
主調整室からの信号の流れは？

A. 放送メディアによって違います

BS放送は光ファイバーのラインによって、渋谷のB-SATアップリンクセンターに信号が届けられ、そこから放送衛星(BS)経由で日本全国のテレビ受像機に電波が届きます。ケーブルテレビ(CATV)放送は同じく光ファイバーのラインからJDS CS地球局へ信号が届けられ、通信衛星(CS)経由でケーブルテレビ各社へ送られ、そこからテレビ受像機へ届けられます。また、インターネット放送によるラジオ配信会社の株式会社radikoへは、インターネット経由でデータとして送られ、そこからIPサイマル放送として、受信機へ送られます。



地上デジタル放送及びFMラジオ放送は、平成30年9月末で終了予定。 詳細はこちら http://www.ouj.ac.jp/hp/o_itiran/2016/280527.html



まなび〜とめぐり♪

全国学習センター学生レポート！



クラーク像

北海道学習センターが位置する北海道大学で有名なのが「Boys, be ambitious (少年よ、大志を抱け)」という言葉で知られるクラーク博士の銅像です。彼は、北大の前身でもある札幌農学校の初代教頭でした。観光の方々にも人気のスポットです。



所長の特別講義

毎月開催されている筑和所長による特別講義に、まなび〜も参加しました。内容は所長の専門分野でもあるドイツ文学です。

北海道

北海道学習センター
旭川サテライトスペース



学生リポーター 北野 隆さん

3年前の退職を機に、放送大学に入学しました。今は研究発表会・文化祭・学友会・サークル活動にも積極的に参加しています。学歌「知は力」にあるように、「まちづくり」に役立つ学びを深めています。



筑和正格所長とまなび〜



視聴学習室・図書室

広々と開放感のある室内は、集中して学習するのに最適です。北海道関係の本も充実しています。



旭川冬まつり

サテライトのすぐそばが会場となり、雪の降る中まなび〜も遊びに行きました。こども達は大喜び、沢山の人の囲まれたまなび〜は大人気でした。

旭川サテライトスペース

サテライトが位置する常磐公園は、春は桜、秋は紅葉が素晴らしくとてもどかな所です。事務室の窓からも四季折々の景色を楽しめます。



北海道学習センター 〒060-0817 北海道札幌市北区北17条西8丁目(北海道大学構内) 電話:011-736-6318
旭川サテライトスペース 〒070-0044 北海道旭川市常磐公園(旭川市常磐館内) 電話:0166-22-2627

放送大学のイメージキャラクター、まなびーが、2つの学習センターにお邪魔しました。そして、各学習センターに所属する学生の方に、その学生生活の一部を見せてもらいました。



まなびーは2008年9月に生まれた放送大学のイメージキャラクターです。「あなた」の心に学びを届ける伝書鳩をイメージしています。命名の由来は、放送大学で学び、未来への夢を広げる鳩。「ピー」は鳥の鳴き声、平和のピース。キャラクターデザインは、漫画家この史代氏(2001年放送大学卒業)です。



滋賀学習センター

周辺には多くの大学や美術館、近江の国庁跡、源氏物語の舞台石山寺、壬申の乱の決戦地瀬田の唐橋があり、自然と史跡にめぐまれた文教地区です。

吉川栄治所長



サークル「みずとりの会」

「水鳥」の会ではなく、シ<みず>+酉<とり>=「酒」の会です。日本酒造りや工場見学を通して日本の文化を学んでいます。当然試飲は必須です。

滋 賀

滋賀学習センター



学生リポーター
吉岡 義信さん

入学は2000年、大学の事務をしながら仕事や趣味の科目を中心に受講しています。授業では会えない人ともサークルを通じて交流しています。サークル活動が活発なのも滋賀学習センターの特徴です。



ICTリーダー パワーアップ講座

NPOと連携しICTサポーターの指導力アップを支援する学長裁量経費プロジェクト。昨年の講演は「テレビとインターネットによる高齢者支援システム」。



面接授業

「近江学入門」「循環器の解剖」など、実験・実習・街歩き型の体験型科目が人気です。受講者は滋賀4割、京都3割、大阪・兵庫2割と広範囲から集まります。



卒業式 入学者のつどい

祝賀会では「琵琶湖周航の歌」を学生とスタッフ全員で歌います。学友会会長の吉田幸一郎さんは放送生活16年、勉強も友達も沢山で、修論に熱中して癌を乗り越え、「人様のお役にたてれば自分も元気になる」と実感したそうです。

滋賀学習センター 〒520-2123 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5(龍谷大学瀬田キャンパス内) 電話:077-545-0362

長崎 学習センター

circle

パソコンサークル

初めまして「長崎学習センターパソコンサークル」です。平成24年5月、同窓会役員8名が発起人となり、学習センターの全面協力を得て「長崎学習センターパソコンサークル」として発足しました。コン

ピューターの経験豊かな学友3名がボランティア講師となり、同年6月に会員35名で活動を開始しました。初級者



主催：平山 邦彦 さん

と中級者が混在する中、講師の熱心な指導と会員の努力で、活動は順調に進みました。昨年度から、「ホームページ・イラストレーター」の研究会を立ち上げ、成果を上げてきました。新年度の重点活動項目を「ビギナーの定着」対策としてのコース設定、「サークルホームページの公開」と決めました。パソコンに興味がある方の入会をお待ちしています。



長崎学習センター 〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14(長崎大学文教キャンパス内) 電話:095-813-1317

福島 学習センター

circle

会津学知会

放送大学福島学習センター「会津学知会」は設立して10年になりました。会員は30名で在學生と卒業生OBです。会の活動は趣味の会ではなく、連絡協議会として活動をしています。会の目的は放送大学を通じてより豊かな人生を送ること、生涯学習の喜びと社会福祉の精神を養うこと、情報交換等により会員相互の学問の向上と親睦を図ることです。会

津地方は郡山から離れた位置にあり福島学習センターまでの往復は時間がかかるため会津学知会を設立し、会員相互間の交流をしき



主催：佐藤 利一 さん

ました。これまでの主な活動としては、定例会の開催、会員による情報提供（ミニ講演）、学習会、歴史散策、

また東日本大震災における震災地視察、福島学習センター主催の公開講演会の参加や、親睦会などの活動をしてきました。会津学知会は、月1回程度の活動をしています。興味のある方は、是非参加をして下さい。



福島学習センター 〒963-8025 福島県郡山市桑野1-22-21(郡山女子大学もみじ館内) 電話:024-921-7471



韓国史研究にこだわる

人間と文化コース・
人文学プログラム 教授 よしだ みつお 吉田 光男

小学生高学年のころから韓国朝鮮に関心をもってきました。なぜそうなったのか、自分でも理由がわかりません。21世紀になって、いわゆる韓流ブームが起きたことから、私に先見の明があったなどと評価されたこともあります。そんな訳ではありません。ただたんに好きなことを続けてきただけです。

韓国に出かけて、文献資料と現地調査をあわせた韓国朝鮮の近世社会史研究をしてきました。『朝鮮王朝実録』などユネスコ世界記憶遺産に登録されている政府記録から民間の一枚もの古文書まで、ほと

んどが漢字漢文で書かれた史料を読み解くことが作業の中心です。都市農村の社会構造、集落

の人間関係、地縁と血縁などが主要な研究対象ですが、商業や国際交流など、韓国近世のあらゆることに関心をもって幅広く研究をしてきました。歴史を研究するならまず現場に出よというモットーの下に、文化人類学や社会学の研究者たちと合同で現地調査をしてきました。農村を回り、旧家に飛び込んで古老の聞き取りもしてきました。韓国近世史研究者としての最大の財産は、経済成長で急速な変化をしている近代社会の中で近世の残り香をかいできたことでしょう。その間、韓国現代史の激動の場にも立ち会うことができました。

ゼミは学部と大学院の合同で開催し、古代から現代までの歴史、国際関係、歴史理論などアジアに関するテーマなら幅広く受け入れています。卒業生修了生も参加し、多様で活発な議論をして私に楽しい刺激を与えてくれています。ゼミの仲間に感謝、感謝です。



多士済々なゼミ生に囲まれて

ソフトウェア開発を支える技術の研究

情報コース・
情報学プログラム 教授 なかたに たかこ 中谷 多哉子

最近、コンピュータが囲碁の世界チャンピオンに勝ったというニュースが報道されました。囲碁をはじめとしたゲームの問題空間は「閉じている」と言いますが、私たちが生活している現実世界の問題空間は「開いて」います。つまり、問題や課題は際限なく発生し、目標は次々と高くなっていくという意味です。

私が研究を続けている「要求工学」という学問領域では、開いた問題空間から、ソフトウェアが解決すべき「閉じた」問題空間を切り出すための方法や、切り出した問題空間を文書化する技術が研究されています。たとえば、ソフトウェアを開発しているときに問題空間が広がってしまうことも少なくありません。問題空間が広がると、ソフトウェアを作り直すための経費が必要になることもあります。要求工学では、このような状況を回避するための技術も研究されています。私は、特に、問題空間



国際会議で発表をするのも研究の楽しさの一つです。(スペイン・アトレヒにて)

を切り出すプロセスを観察する方法と、予実管理をするためのツール開発を行っています。

私は2015年4月に筑波大学から放送大学に移って来ました。これまでは、要求工学における研究の他に、品質改善の方法などを研究してきましたが、ソフトウェア開発と成果物の品質を向上させるための研究テーマは多種多様です。放送大学の修士の学生さんとは2016年4月から活動を始めました。これからも学生の皆さんと共に、ソフトウェア開発の課題を解決していきたいと考えています。

千葉学習センター 若者の集いをレポート!

去る2月21日(日)、千葉学習センターにて、学生主催の「若者の集い」が開催されました。

当日は千葉学習センター以外からの参加者も含め、30名以上が集まり、

3名の千葉学習センター客員教員及び宮野所長が見守る中、若い学生の皆さんが交流しました。

主催者 に聞きました

太田 吉宏さん



今回の集いを企画した理由を教えてください

放送大学には、ミドル、シニア世代のサークルはたくさんありますが、若い世代の集まる場所がないと思い、宮野先生に相談したことがきっかけです。

集いを終えて、感じた事、気づいた事などありますか

一般の大学生のように、大学卒業(学士)の資格を得るために学んでいる方、興味のある学問分野を深めるために学んでいる方、キャリアアップのために資格取得を目指す方、資格取得が趣味で学んでいる方など、様々な目的をもって学んでいる方がいらっしやることに気づきました。また、通信制大学ということもあってどうしても孤独になりがちで、学ぶ仲間とのつながりを求めていることにも気づきました。この集いで紹介された文京の学習支援サークルに参加された方もいるとの話を聞き、この集いをきっかけに人と人とのつながりが広がっていくなら嬉しく思います。

今後、集いを継続されますか

目処はたっていないませんが、継続していきたいです。継続していくことで顔見知りも増え、仲間同士のつながりがより深く広いものになれば嬉しい限りです。また、今回のようなグループワークだけではなく、学習会や遠足など、活動の種類も豊かにすることができれば楽しみが増えると思います。



事前打ち合わせの様子

受付

各学習センターから10～30代の学生が集まりました。

代表者のトーク

学生生活や単位の取り方、就活などの経験談を話し合いました。

ディスカッション

参加者が2チームに別れ、テーマごとにディスカッションしました。

チーム毎の発表

各チームごとにディスカッションの内容を発表しました。

茶話会

初対面同士の方も、ディスカッション後は会話が弾みました。

有志の交流会

集いが終わり学習センターを出た後も、有志の交流は続きました。

参加者 に聞きました

佐藤 ちづかさん



イベントはどこで知りましたか

単位認定試験を受けに来たときに、学習センターの掲示で知りました。

掲示を見てすぐに参加しようと思いましたか

昨年の4月に編入で入学したのですが、面接授業の受講や単位認定試験でセンターに来て、同世代の人と知り合う機会がなかったので、掲示を見た瞬間「これは行きたいな」と思いました。

今日、イベントに参加して得るものはありましたか

自分と同じように勉強している若い方が、集まることができる地域にこれだけいるんだ、ということを知ることができたので、励みになりました。

これからの学生生活が変わりそうですか

これまでサークルの掲示などを見て興味はあったものの、一人だと気後れしてしまうことがありました。でも、今日卒業生でサークルを作った方のお話などを聞きることができて、自分から動いてみると知り合いの幅が広がるのではないかな、と思いました。

全国の若い学生の方に伝えたいことはありますか

周囲に同年代の人がいないことで、放送大学で友達を作ることをあきらめている人や、学習センターへ行くことに抵抗感を持っている人も多いと思います。でも、同じような人は見えなだけで、実はたくさんいるんだということを、私は今回知ることができました。なので、探せばいるという気持ちを持って、面接授業などに参加されるとよいと思います。他の人の体験では、語学の面接授業やディスカッションの面接授業で交流を深めた人がいるそうですよ。

就任のごあいさつ

風に吹かれて、今もなお

人間と文化・人文学プログラム 教授 さとう よしあき 佐藤 良明

50年前にフォークやロックに熱くなった少年がアメリカ文化に憧れ、音楽・映像・小説・思想書にふれ、トマス・ピンチョンという圧倒的にブッonda作家で論文を書き、教育機関に就職して30余年、厳格な意味での学者らしきことにソッポを向いて生きてきました。一番一生懸命やったのが、1990年代の東大駒場の英語改革で、そのビデオ・コンテンツ制作は当初、幕張のスタジオで、当時の「放送教育開発センター」のお世話になって進められました。

専門を聞かれると「アメリカ文学／ポピュラー音楽」と答えます。東大の大学院では「表象文化論」所属の学生と付き合ってきました。文学にせよ歴史にせよ、書の文献を軸に進められてきた人文学研究が、諸メディアに移植されていく時代にあって、自分なりのお手伝いもできるだろうと思って、本学にやってきました。「アメリカの芸術と文化」という科目を作ることができそうです。

2015年10月就任



よろしくお願ひいたします

自然と環境・自然環境科学プログラム 教授 はしもと けんろう 橋本 健朗

首都大学東京（旧都立大学）から昨年10月に赴任しました。様々な世代、職業、地域の方々との出会いが待ち遠しいです。専門は量子化学を中心とする計算化学で、種々の分子の構造と反応を研究対象にしてきました。実験家と共同し、大気環境、材料開発、分析化学の研究も行っています。放送大学ではまず、経験も活かしつつ色々と学びながら、授業の充実に力を注ぎたいと思います。またメンバーが離れていても互いに刺激、協力しあえる研究室を学生の皆さんと作

るのは、苦労もありそうですが楽しみでもあります。ICTを活用した遠隔指導と直接指導の調和、融合も研究です。量子化学に限らず、テーマをお持ちの方、テーマ探しから始めたい方が、経験や学びを形にする研究に挑戦する力になりたいと思います。まだ若く、活力もあるつもりでいます。支援、協同を通じ、私も研究を深め、広げ、成長したいと願っています。

2015年10月就任



化学を基盤とした食の理解

生活と福祉・生活健康科学プログラム 教授 よしむら えつろう 吉村 悦郎

私たちが毎日食べている食餌には多種類のミネラルが含まれています。鉄や亜鉛などは必須元素としてわれわれの生命維持に重要な役割を演じています。たとえば、鉄はヘモグロビンの中に含まれて、酸素を運搬するのに使われているのはご存知でしょう。一方、このような必須元素のほかに、一般には毒性を有するとして認識されている金属も含まれています。濃度は低いですがカドミウムもおコメをはじめとしていくつかの食品に含まれていま

す。カドミウムに対してはその毒性を緩和する機構が備わっています。

このようなミネラルを含めて、食餌に含まれている各成分の生理機能を理解するには化学に頼る必要があります。記憶をするとそのうちに忘れますが、理解をすると忘れることはありません。皆さんと一緒に、化学的視点から“食”を眺めたいと願っています。

2016年4月就任



生涯学習の実践の場に

心理と教育・人間発達科学プログラム 教授 ^{いわさき くみこ} 岩崎 久美子

桜咲く四月に、放送大学に赴任しました。

これまで、国の研究機関で青少年教育や生涯学習に関する調査研究、成人学習の理論研究に従事してまいりました。政策の場面では、若年層の雇用確保・維持や高齢者の医療費削減といった経済学的視点で生涯学習の効果をとらえがちです。しかし、学習をしている個人にインタビュー調査で接しますと、学ぼうとする根底に自分の人生を意味づけようとする強い意志と目的があることに気づきます。大人になってからの学習は、自分の意志により自律的に行われ

ます。人生設計には必ず学習が関わると言われており、自主的に行われる学習は、人生の前向きな働きかけです。

生物は、環境の変化により進化すること。わたくしも放送大学という新しい環境で進化できるよう、そして、放送大学という学びの場で学生さんたちの成長への意欲に触発されますことを願っております。

どうかよろしく願いいたします。 2016年4月就任



日本の政治思想の多面的理解を目指して

社会と産業・社会経営科学プログラム 教授 ^{はら たけし} 原 武史

第一線で活躍する研究者の集まる放送大学に呼んでいただいた上、しばらく開講されていなかった日本政治思想史の講座を担当することになったのは、私にとってこの上ない光栄でした。従来の古典とされるテキストの厳密な解釈だけでなく、空間や時間から思想史を見る視点、前近代の隣国との比較の視点、宗教学や民俗学、ジェンダー学などとの接点に当たる視点も取り入れ、さらには戦後史にも

ウエイトを置きながら政治思想の多面的理解を目指したいと考えています。放送大学で御厨貴客員教授が開拓された「建築（空間）と権力」という視点も継承しながら、街道や鉄道、広場、団地など、一見政治思想史とは無関係な領域にも注意を払うつもりです。なにとぞよろしく願いいたします。

2016年4月就任



専任教員としての勤務が楽しみです

社会と産業・社会経営科学プログラム 教授 ^{やなぎはら まさはる} 柳原 正治

国際法・国際法史が専門です。グロティウスやクリスティアン・ヴォルフの国際法理論、19世紀後半の東アジアにおける近代国際法の受容過程、安達峰一郎や山川端夫の国際法理論、国家領域、戦争と武力行使などのテーマを研究してきました。また、前任校においては、多くの学生や院生を教育してきました。わたくしの学部演習を履修した学生は、250名ぐらいになります。「よく学び、よく遊び」をモットーとしたゼミでした。「柳原ファミリー」として強い結束力を誇っています。

この3月まで、放送大学の福岡学習センターで3年間客員教授をしました。また、「国際法」（ラジオ科目）は2014年から放送されています。それらの経験を生かしつつ、専任の教授として、いろいろな形で放送大学における教育に携わっていただけるのを楽しみにしています。現在は、2018年開講予定の「法学入門」のテキスト作成に従事しているところです。

2016年4月就任



歴史を見る目

人間と文化・人文学プログラム 教授 近藤 成一



歴史を愛好するのはどのような方法でも自由なのですけれども、一歩進んで学問として歴史に取り組むのであれば、史料に基づくことと、学説史を踏まえることが必要になります。その前者の条件を支える史料編纂の仕事に3月までの34年間従事してきました。私が担当していたのは鎌倉時代の史料を年代順、事件ごとに整理して出版することで、34年間に約400頁の史料集を9冊刊行しましたが、収録できたのは宝治2年（1248）10月から建長3年（1251）7月までの35ヵ月間です。34年かけてたっ

た35ヵ月！ 平均すれば1年かけて1ヵ月分を編纂してきたことになります。

一方で、歴史は流れを大局的に把握することが大事ですね。たった3年足らずのことに34年間かけてきたのは、大局的な理解とは真逆なのですから、極小部分を徹底的に見ることによって全体を見る目を転換させるきっかけを得ることもできたと思います。その視点を活かして、視野をひろげていきたいと思っています。 2016年4月就任

太陽系から宇宙の果てまで

自然と環境・自然環境科学プログラム 教授 谷口 義明



生まれは北海道で、大半は旭川市で過ごしました。冬はとても寒く、氷点下35℃までは経験しました。中学生の頃、宇宙に関心を抱きましたが、大学は法学部に行こうと考えていました。しかし、宇宙への憧憬を捨て去ることができず、結局、理学部を選び天文学者を目指すことになりました。東北大学大学院天文学専攻で学位を取得後、東京大学、東北大学、そして愛媛大学で天文学の教育と研究を行ってきました。この度ご縁をいただき、放送大学に着任した次第です。専門は観測的宇宙論

ですが、主として銀河や巨大ブラックホールの誕生と進化の研究をしてきています。個人的には太陽系の起源などにも関心があるので、天文学全般について放送大学の学生・大学院生の皆さんと勉強を進めていけるよう配慮したいと思います。ただ、私は放送大学1年生なので、まずは、いろいろ学びながら円滑に仕事を進められるよう努力していく所存です。今後とも、宜しくお願い致します。 2016年4月就任

大学の窓 新任アナウンサーの紹介

児玉 有希 (こだま ゆき)

様々な分野の学びに取り組むみなさんを全力で応援します！全国各地で多くの方に出会い、お話をうかがいたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



中谷 香央里 (なかたに かおり)

勉強でちょっと疲れたなというときに、ほっと一息つけるような、また頑張ろうと思えるような、そんな時間を作っていければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【テレビ放送時間】

12:45~13:00、19:45~20:00、23:00~23:15

【ラジオ放送時間】

12:45~13:00、19:45~20:00、23:45~24:00

【アナウンサーブログ】

<http://ouj-mado.blogspot.jp/>

Walking with Writers ('16) 基盤科目

A Literary Journey around England

慶應義塾大学准教授
(放送大学客員准教授) いぐち あつし 井口 篤

ナレーター・文筆家・役者
(放送大学客員教授) ステュート・ヴァーナム・アットキン



井口 篤 客員准教授



ステュート・ヴァーナム・アットキン 客員教授

スコットランドの詩人トマス・クラーク(1944～)は、「いつでも、どこでも、人は歩いてきた。見える道、見えない道、整った道、曲がりくねる道で地上に跡を付けながら」と書いています。イングランドにかつて生きた作家たちも、その想像力によって山や川、湖、平野、荒野などの風景に消えない「道」を残してきました。本科目でご紹介するジェフリー・チョーサー、ウィリアム・シェイクスピア、エミリー・ブロンテ、ウィリアム・ワーズワス、ビートルズ・

ポターなどは、彼らが生きた土地と深く関わり合いながら、ときに神々しいほど美しく、ときに心地よく、ときに拒絶するように厳しく、そしてときに妖しい魅力を放つ風景について、忘れがたい詩や小説を書き残しました。私たちも、実際に彼らが住んでいた場所を訪れ、その足跡をたどりながら作品を味わいたいと思います。歩きながら文学を読み、足で英語を学ぶ旅にともに出発しましょう。

生活における地理空間情報の活用 ('16) 導入科目

放送大学准教授
(生活と福祉) かわはら やすひろ 川原 靖弘

東京大学准教授
(放送大学客員准教授) せきもと よしひで 関本 義秀



川原 靖弘 准教授



関本 義秀 客員准教授

「地理空間情報」という言葉は馴染みがありますか？ 位置の情報やそれに関連づけられた情報のことで、地図、地形、住所のある統計情報、今いる位置なども、地理空間情報です。今日のインターネットの普及により、パソコンや携帯端末でいつでもどこでも電子地図を見ることができるようになり、日常生活でより身近に地図を利用できる時代になりました。電子地図を用いると、いつどこで何が起きているかというダイナミックに変化する情報を地図上で表現し、その情報をリアルタイムに共有することができます。昨今は、このような技術を用いて、生活空間で実測された人の行動や経

済活動に関わる

発見もサイエンス分野の手法で発表されるようになりました。

本講義では、地理空間情報の表現方法、GIS(地理情報システム)を用いてどのように地図に情報を埋め込んでいくか、そしてその情報が私たちの生活の中でどのように活用されているのか、都市、交通、防災、娯楽、保健・医療、農林水産業、文化、生態など多様な視点から解説していきます。これらをわかりやすく伝えるために、放送教材では多くのロケ映像が含まれています。地理空間情報の活用で見えてくる世界を一緒に楽しみましょう。

新しい時代の技術者倫理 ('15) 導入科目

東京工業大学教授
(放送大学客員教授) ふだの じゅん 札野 順



札野 順 客員教授

現代ほど科学技術が人間社会に広範で深遠な影響を与える時代はありません。科学技術に携わる人々や組織が、優れた意思決定と行動をすることが求められています。それゆえ、日本のみならず、世界中の工学系高等教育において、技術者倫理が教えられています。このような状況に鑑み、放送大学では、2004年という日本においては非常に早い時期から、テレビ科目として「技術者倫理'04」を開講し、その重要性から、改訂版の「技術者倫理'09」として発展させました。

今回の「新しい時代の技術者

倫理'15」は、これまでの内容を継承しつつも、東日本大震災後を「新しい時代」と位置づけ、そこで技術者が持つべき資質と能力や担うべき新たな役割について検討しています。さらに、これまでの責任や義務を強調する「予防倫理」だけでなく、倫理の本来の姿である、より「よく生きる(well-being)」ことに繋がる「志向倫理」の重要性を具体的な事例を使って解説しています。「新しい」技術者倫理の世界へようこそ！

初歩からの物理 ('16) 導入科目

放送大学教授 (自然と環境) きしね 岸根 順一郎 じゅんいちろう 東京大学名誉教授 (放送大学客員教授) よねや 米谷 民明 たみあき

ノーベル賞受賞報道などを通して、物理学の研究
成果が話題になることが多くなりました。自分自身で物
理の世界に一步踏み込んでみたいと考える方も多い
と思います。そうした方が物理の世界に入っていくガイ
ド役を果たすことがこの科目の目的です。物理学の特
徴は、基本的な物理法則に基づいて自然現象を記述
する方法にあります。物理法則は実験観察に基づい
て導き出されます。実験結果は「測定値」として数値
化され、測定値の間の関係性が数学的に記述されま



岸根 順一郎 教授



米谷 民明 客員教授



聞き手 岡山 悠子さん

す。では、物理的方法が実際の自然現象にどう適用さ
れ、私たちの自然認識の地平を広げるのでしょうか。そ
の驚きを皆さんと共有しながら、極微の素粒子世界か
ら身近な物質世界、さらには宇宙の全体像までを見渡
していきます。放送教材では、日本科学未来館の岡山
悠子さんを聞き手としてお迎えし、初学者の素朴な疑
問(これこそが物理を学ぶ上で大切です)にこたえる
形で番組を進めます。

看護学概説 ('16) 専門科目

放送大学教授 (生活と福祉) いで 井出 訓 さとし 放送大学教授 (生活と福祉) いのうえ 井上 洋士 ようじ

看護学を学ぶにあたり、学問としての看護の基礎とな
る考え方や理論、方法など、看護を幅広く多角的な視点
から俯瞰していく授業が看護学概説です。看護学では
特に、その構成要素として「人間」「環境」「健康」「看
護」という4つの大きな概念が用いられます。この授業は、
主たる概念や諸理論に関わる先進的知識を幅広く獲
得し、実践の科学である看護学に対する理解を深める
ことを意図しています。看護の対象は、新生児から高齢
者までの発達段階で様々な健康問題を抱える人たちで



井出 訓 教授



井上 洋士 教授

す。またその家
族、取り巻く地域社会などを含め、それぞれの固有課題
を理解しつつ、援助と健康の維持、増進に携わっていく
ことが看護の重要な役割となります。この授業では、それ
ぞれの分野で優れた実践と研究をされていらっしゃる先生
を講師陣にお招きし、印刷・放送教材共々にご担当をい
ただきました。興味深く内容の濃い授業になっていると
思います。ぜひ、多くの学生のみなさんに受講いただき、
看護という学問の魅力を見つけて欲しいと願っています。

社会福祉の国際比較 ('15) 専門科目

同志社大学教授 (放送大学客員教授) うずはし 埋橋 孝文 たかふみ

テレビ科目『社会福祉の国際比較』は2015年に開
講しました。ここでいう社会福祉とは、年金や医療保険
制度、生活保護制度などを含む広義の社会福祉です
が、それは従来、国内の制度・営みであると考えられて
きました。しかし、多くの国で20世紀後半の50年の間に
整備がすすめられた「グローバルな現象」でもあります。

この科目は、次の3つを理解することを主たるねらい
としています。

第1に、日本で私たちが慣れ親しんでいる社会福祉

とは異なる性格のものが海外で

は存在していることを理解し、第2に、日本の社会福祉
と比べてどこが違うのかを認識することです。その上
で、第3に、日本や世界の多くの国々が直面している課
題に対して政策的にどのように対応すればいいか、そ
れを受講生に考えてもらうことです。

なお、本科目のユニークな点は、①政治や法制度の
専門家もスタッフに含まれていること、②欧米だけでな
く東アジアの中国、韓国をも取り上げていることです。



埋橋 孝文 客員教授

知的障害教育総論 ('15) 専門 科目

関東学院大学教授
(放送大学客員教授)

おおた としき
太田 俊己

創価大学教授
(放送大学客員教授)

ふじわら よしひろ
藤原 義博



太田 俊己 客員教授



藤原 義博 客員教授

障害の中でも、この科目では、「知的障害」の子どもたちの教育や心理を取り上げています。特別支援学校教諭の免許取得ができる科目の一つで、ラジオ科目として2015年に新設されたものです。

知的障害のある子どもたちは知的発達、加えて適応行動といわれる生活活動に遅れのある障害です。実生活につながる活動を教育実践の中に組み入れることで、この子どもたちも主体的に学校生活に取り組む子どもに育っていきます。それには的確な子ども理解、そして教育内

容・方法について

の理解と学習が重要です。本科目では、知的障害とその教育の特徴に始まり、特色のある教育課程や指導法まで学校での様子を含めて学べます。また今回の新設に伴う改訂で、海外の知的障害教育、自閉症教育との関連、個々の子どもへの教育計画、行動の問題への対応、キャリア教育など現在の課題を取り上げました。本科目は現職教員の方の受講が多いのですが、その方たちにもこれらは大いに学習や学び直しにつながるものと思います。

教育課程の意義及び編成の方法 ('15) 専門 科目

東京学芸大学准教授
(放送大学客員准教授)

ふくもと まゆみ
福元 真由美



福元 真由美 客員准教授

「教育課程の意義及び編成の方法('15)」は、保育士の資格をもち、幼稚園教諭免許状を取得しようとする方を対象に開講されました。新しい「幼保連携型認定こども園」は学校教育と保育を一体的に提供するため、その「保育教諭」には上記の免許と資格の両方が求められます。本科目は、これらの併有を促進し、みなさんが幼稚園教諭に必要な知識を習得し、幼稚園教育の動向を理解することを目指しています。

幼稚園教育は、園生活の全体を通して教育のねらい

が総合的に達成されるよう実践を展開しています。教育課程と指導

計画は、入園から修了までに幼児が必要な経験を得るためのベースとなるものです。教員は、幼児が主体的に活動できるよう、一人一人の行動を理解して環境を構成しています。近年は、幼小の接続、特別支援教育、安全教育についても高い関心が払われています。

本科目は、これらの内容を実践にそくしてわかりやすく伝え、オンラインの特性を生かしてみなさんが自分のペースで学べるようにしています。

乳幼児心理学 ('16) 専門 科目

中央大学教授
(放送大学客員教授)

やまぐち まさみ
山口 真美

日本女子大学教授
(放送大学客員教授)

かなざわ そう
金沢 創



山口 真美 客員教授



金沢 創 客員教授

誰もが遠い過去に通過した、乳幼児期。しかしながら、乳幼児の真の姿は、なかなか伺い知ることはできません。仕事や家庭で乳幼児と接する機会の多い方もいるでしょうが、日常の観察から知る乳幼児の姿は、本来持っている能力のほんの一部にすぎないのです。

この授業では、最新の技術を駆使した実験を紹介しながら、乳幼児の隠れた能力を見いだしていきます。赤ちゃんの視力や見える色・好きな色から始まり、言葉の聞き取りや社会的なやりとりの発達、生活を支える食の

発達、そして健

常な発達と非定型な発達を学ぶことによって、発達障害についても理解を深めていきます。乳幼児を対象とした実験を行う日本や世界の実験室を訪ねながら、最新の実験の様子を紹介していきます。実際の赤ちゃん実験の映像をふんだんに使った、放送大学でしか見ることのできない、映像による授業です。身近な赤ちゃんの隠れた姿、赤ちゃん達の驚くべき姿を楽しみながら、乳幼児の隠された能力をしっかりと学んでください。

刑事法（'16）専門科目

神奈川大学大学院教授 しらとり ゆうじ
(放送大学客員教授) **白取 祐司**



白取祐司 客員教授

「刑事法」講義では、犯罪と刑罰に関する法現象を、なるべく多面的に、かつ分かりやすく講義していくつもりです。多くの犯罪は被害者がいますから、まずは被害者の立場にたって犯罪を考えるのが分かりやすいかもしれません。しかし、犯罪は社会を不安にさせ、個人や社会の利益・財産などの損害を与えるものですから、社会として犯罪にどう対処するかを考える必要があります。ただ、犯罪への対処として最も厳しい対応は、その加害行為を「犯罪」と認定し、刑罰を科すことで

すので、これは社会というより国家がその責任において取り組まなければいけません。

というように、「刑事法」が扱う範囲も扱い方も多様なのですが、本講義では、問題を拡散させないために、①実体法学的アプローチ、②手続法学的アプローチ、③刑事政策的アプローチという3つの角度から論じていくことにします。なるべく具体的な事例をもとに述べますので、皆さんも是非、六法を横において一緒に考えていきましょう。

グローバル化と日本のものづくり（'15）専門科目

東京大学大学院教授 ふじもと たかひろ
(放送大学客員教授) **藤本 隆宏**

東京大学大学院教授 しんたく じゅんじろう
(放送大学客員教授) **新宅 純二郎**



藤本隆宏 客員教授



新宅純二郎 客員教授

この授業は、2011年に始まった講義の改訂版です。グローバル化の時代と言われる21世紀の前半において、日本のものづくりの産業、企業、現場が、どのような課題を持ち、どのようにしてそれを乗り越えていこうとしているかを講義します。

われわれが考える「ものづくり」は、製造業の生産現場の溶接や旋盤加工といった固有技術や専門技能の範囲に限らない広い概念です。具体的には「良い設計の良い流れ」でお客様を喜ばせ、企業も利益を確保し、さらに

安定雇用で地域

に貢献する「三方よし」を目指す活動はすべて「ものづくり」であり、この考え方は、製造業だけでなく、サービス業や農業といった分野にも広く適用可能です。「グローバル能力構築競争」の時代に入りつつある今、付加価値の良い流れ作り、正確なアーキテクチャ戦略の選択、全体最適のグローバル戦略などが、企業にとっても地域にとってもこれまで以上に重要になります。そうした基本的な考え方と手法を、この授業で習得してもらえればうれしいです。

環境の可視化（'15）専門科目

—地球環境から生活環境まで—

放送大学教授 ほやの あきら
(社会と産業) **梅干野 晃**

東京工業大学准教授 なかむら たかし
(放送大学客員准教授) **中村 恭志**



梅干野晃 教授



中村恭志 客員准教授

今日の地球環境時代、環境についての正しい理解がますます重要になっています。しかし、環境問題の原因や影響は直接目に見えないことが多いため、その本質を理解することは難しいと良く言われます。環境を画像として可視化することにより、その理解が深まり、かつ感性に訴えられると考えられます。講義では、お互いが入れ子構造にある地球環境から日常の生活環境までを対象として、次の4テーマの可視化を扱っています。

①表面温度、②水の流れ、③地盤探査、そして、④今

日注目されている環境のリモートセンシング技術に焦点を当てています。

可視化画像がどのように作成されるのか、観測—解析、またはシミュレーション、そして、それら結果の可視化について、各プロセスの過程を丁寧に解説しています。楽しみながら、環境の可視化画像を味わっていただきたいと思っています。可視化技術や可視化画像の読み方など、この講義で得た知識をもとに、今日注目を集めているいろいろな環境問題の理解に役立てていただければ幸いです。

西洋芸術の歴史と理論 ('16) 専門科目

放送大学教授
(人間と文化) 青山 昌文



青山 昌文 教授

芸術は、時代の真っ直中から生み出され、その時代の息吹を奥底に吹き込まれることによって、その時代を超越し、永遠の命の光芒を遙かに放っている存在です。芸術は、世界の様々な諸関係の生き生きとした結節点として生み出され、その世界の本質を奥底に注ぎ込まれることによって、その世界を超越し、永遠の世界の本質を力強く語っている存在なのです。本講義は、ヨーロッパと北アメリカの芸術を、古代ギリシアの《アファイア神殿》から現代アメリカのジェフ・クーンズの現

代芸術まで、歴史的に通覧し、合わせて、村上隆などの現代日本美術についても考察します。南フランスのプロヴァンスの三姉妹と称されている美しいロマネスク建築芸術や、ローマのベルニーニの超絶技巧のバロック美術作品《プルートとプロセルピーナ》等の西洋美術史上の素晴らしい傑作のそばに私が実際に立って、それらの芸術の深い意味について、感動を込めながら、語っています。是非、ご覧になってみて下さい。

CGと画像合成の基礎 ('16) 専門科目

放送大学准教授
(情報) 浅井 紀久夫



浅井 紀久夫 准教授

その青い肌をした生き物に意識が転送されると、その体は自らの意思で動くようになった。その動きは人間のそれと遜色なく、その顔の表情も喜怒哀楽に富む。しかし、この地球上に青い肌をした人種が存在するとは思えない。これは、映像の中だけの作りものであろう。それにしても、この本物らしさはどこから来るのだろうか…。

特殊撮影を含む映画を鑑賞していて、このような思いを抱いたことのある方は多いのではないのでしょうか。

CG(コンピュータグラフィックス)は、映画やアニメ、CMなど、身の回りのメディアの至るところに使われ、身近な存在になりました。CGの技術は年々向上し、現実の物体をカメラで撮影したものなのか、CGで作った創作物なのか、区別できなくなっています。そこには、CGに写実性を与えるための様々な工夫が施されています。CGはどのように構成され、どのように描画されるのでしょうか。本科目では、CGを描画する基本原理を理解し、画像合成の基礎を学びます。

感性工学入門 ('16) 専門科目

放送大学教授
(情報) 黒須 正明



黒須 正明 教授

感性という概念は、日常的にも使われている身近なものでありながら、いざ研究対象として取り組もうとすると、なかなか困難なものです。人間における情報処理の一種とは考えられるのですが、認知や感情のように従来の心理学の枠組みで捉えることはなかなか難しく、それにもかかわらず、感性工学としてモノ作りやコト作りの場面で応用されることが多いのです。感性的魅力は購買行動に関係するからです。

そこで、この講義では、情報学を拡張したスタンスか

ら多面的にその正体を捉えようとしました。講義は8回編成で、感性と感性工学、感性のデザイン、感性と認知・感情、感性の評価・計測、美しさとかかわらしさ、感性とクリエイティビティ、感性とビジネス、感性とこれからの社会、という内容を含んでいます。また放送の時間枠という限定がなく、自由に構成できるため、各回にはそのときのテーマに関連した専門家へのインタビューを含んでいます。是非皆さん自身の視点から、楽しみながら考えてください。

動物の科学 ('15) 専門科目

放送大学教授 (自然と環境) にこう なるお 二河 成男
北海道大学名誉教授 (放送大学客員教授) ひがし せいこう 東 正剛

皆さんは動物の持つどのような性質に興味がありますか。野生での生態や、自身で育てている動物の行動などでしょうか。これらは様々な書物や放送番組で見かけることでしょう。この科目では、それら動物の種類によって異なることよりも、動物共通に見られる、動物らしい特徴に着目しました。その1つは、運動と感覚に関わる能力です。これらには筋肉やそれを制御する脳・神経系が関与しており、その仕組みの詳細も明らかになりつつあります。そして、この発達した脳・神経

系を利用して、動物は同種の異なる個体間と密接な関係を形成しています。つがいの関係や異性をめぐる争い、あるいは子育てや群れの形成など、これら動物が見せる社会性は、他には見られない独特の性質です。この科目ではこれらに加えて、発生や成長に伴うからだの形成や免疫の仕組みなど、動物らしい性質を中心に、動物とは何ものであるかを、自然科学的な視点から明らかにしていきます。



二河 成男 教授



東 正剛 客員教授

世界の中の日本 ('15) 総合科目

放送大学教授 (社会と産業) たかはし かずお 高橋 和夫

今年のアメリカ大統領選挙で民主党の指名を目指しているバーニー・サンダース候補が、この番組と似た主張をしている。格差の拡大を許容する社会は行き詰まっている。国民に北欧型の福祉を提供すべきだ、と。

さて、この番組の方の主張は、北欧との比較の中で日本の抱える様々な問題を考えようである。なぜ北欧なのか。幕末以来、日本人は脱亜入欧を目指してきた。しかし日本人が目標としてきた「欧」は、アメリカを含むイギリス、ドイツ、フランスなどの大国だった。こうした大

国が戦争に明け暮れている間に、北欧の小国たちが、世界のうらやましがかるほどの福祉国家に成長した。小国の「欧」を新しい目標とする時期に来ているのではないか。そうした問題意識から番組を制作した。タイミングは悪くない。日本人が無意識の内に目標としてきたアメリカ自身でさえ、北欧型の福祉を説く候補者が人気なのだから。それでは、番組は面白いのか？ 学生アンケート調査では大変に好評だった。ぜひ、自らの目でご判断を？



高橋 和夫 教授

進化する情報社会 ('15) 総合科目

放送大学教授 (社会と産業) こだま はるお 児玉 晴男
大阪大学名誉教授 (放送大学客員教授) こまき しょうぞう 小牧 省三

総合科目「進化する情報社会」は、情報通信技術 (ICT) と社会がどのように相互に作用しあって進化しているかを理解することにあります。現代は、ICT がなければ成り立たない社会になっています。本科目は、産業や暮らしの局面、いま大きく変化しつつある各領域、ICT が破壊しつつある分野などに注意を払い、ICT の適切な活用の仕方を探求していきます。

改訂「進化する情報社会」は、政策・技術・制度の構成を部分的に再編し、またその後の変遷や最新の情報をカバーしています。他方、歴史的な経緯や年月

が経過しても変わることはない政策・技術・制度の内容はそのまま残し、全体的な構成は維持しています。本科目は、情報社会の将来を展望するとともに、ICT の発展のあり方について考えます。

各回の講義はオムニバスになっていますが、その内容は多様な関連をもっています。放送教材と印刷教材をロールプレイングゲームのように各回・各章を縦横に踏破して、新たな知見を見いだされることを希望します。



児玉 晴男 教授



小牧 省三 客員教授

人間発達論特論 ('15)

放送大学名誉教授 九州大学名誉教授 すみだ まさき 住田 正樹 (放送大学客員准教授) たなか りえ 田中 理絵



住田 正樹 名誉教授



田中 理絵 客員准教授

発達研究という、これまでは誕生から青年期までが中心でした。それはこの期間がドラスティックに変化する時期だからです。しかし人間は成人期以降においても発達していきます。人間は生涯にわたって発達していくのです。この講義では、人間の生涯にわたる発達の過程を発達社会学の視点から考察していきます。発達社会学は人間の発達過程を社会的・文化的文脈との関連において考察していく学問です。

人間の発達過程はいくつかの段階に分けて考えることができますが、近年注目されている新たな理論に

「サード・エイジ

論」があります。この理論によれば、住田はいま正にサード・エイジの段階にあり、田中はセカンド・エイジの段階にあります。受講生の方々も多くはセカンド・エイジかサード・エイジの段階でしょう。しかしフォース・エイジの方々も多々いらっしゃるでしょう。では、サード・エイジ論とはどのような理論なのでしょう。そしてまたセカンド・エイジ、サード・エイジ、フォース・エイジとは人生の、どのような段階なのでしょう。答えは印刷教材の第13章・第14章をご覧ください。

教育行政と学校経営 ('16)

放送大学教授 (人間発達科学プログラム) おがわ まさひと 小川 正人 (放送大学客員教授) かつの まさあき 勝野 正章



小川 正人 教授



勝野 正章 客員教授

本科目は、『教育行政と学校経営('12)』の構成と内容をいかしながら、この間の教育政策の新しい展開や法制度改正を加筆した改訂版です。前科目を作成した時期は、民主党政権の誕生(2009年9月)という戦後政治の重要な出来事がありましたが、その後、自民党が政権に復帰し(2012年12月)、教育「再生」を国の重要課題として位置付け内閣主導の教育改革を強力に進めてきました。今回の改訂科目では、広範囲に亘って大幅な加筆が行われていますが、それは前科目

の制作時期か

ら教育政策や法制度改正がいかに大きく動いたかの証左であると思っています。日本の教育改革は、1990年代の「助走」の時代を経て、今世紀に入り具体的に動き始め、そして、第2次安倍政権以降に「教育の構造改革」と称されるような大幅な教育制度の見直しに取り組んでいます。本科目が、受講生の皆さんにとって、そうした現代日本社会と教育改革に関する実際と課題を学び、考えていく契機になればと願っています。

心理・教育統計法特論 ('15)

広島国際大学教授 (放送大学客員教授) おの でら たかよし 小野寺 孝義



小野寺 孝義 客員教授

ラジオ科目「心理・教育統計法特論」は2015年から放送されています。大学院対象とはなっていますが、数学から長く離れていた人もなじめるよう数学的基礎の章をもうけて敷居を低くしています。微分や行列なんて忘れたとか、聞いたことがないという人でもチャレンジできます。「臨床心理学が専門だから統計はよくわからない」は、もはや通用しない時代です。実証的な結果が重視される現在、論文を読むにも書くにも統計は避けては通れませんし、実際のビジネスシーンでも統計が大活躍

しています。

KKDという言葉があります。これは経験・勘・度胸の頭文字をとったもの。たとえ、うまくいくことがあったとしても裏付けや根拠があいまいなまま、このKKDで研究や意思決定を進めていけば危険なことはわかると思います。

本科目では一通りの解析法を紹介した上で新しい統計学の流れとしてメタ分析や効果量なども網羅しました。是非、この科目で実証的な考え方・統計的思考についてやり直してみませんか。

投影査定心理学特論（'15）

放送大学教授
(臨床心理学プログラム)

おがわ としき
小川 俊樹

岐阜大学教授
(放送大学客員教授)

いとう むねか
伊藤 宗親



小川 俊樹 教授



伊藤 宗親 客員教授

ラジオ科目『投影査定心理学特論』は、臨床心理学プログラムの科目の一つとして2015年度に開講されました。アセスメントつまり査定は、臨床心理学ないし心理臨床実践において重要な柱のひとつです。そして、その方法論のなかでも特に投影法に焦点を当てて学べるように意図されています。本講では、各種投影法の解説がなされていますが、そればかりではなく、実際の臨床現場でどのように用いられているのか、どのような役割を担っているのかを紹介し、理論と実践の橋渡しを

試みています。

アセスメントというと心理検査やテスト理論という言葉を連想しがちですが、本講ではそれらに留まることなく、投影法の可能性を研究の面から、そして臨床実践の面から学修することを目指しています。その意味では、「査定」という営みには何が投影されているのか、あるいは、「投影」というメカニズムによって何が査定できるのかを学ぶ機会とも言えます。本講座で、受講生の学びが深まることを期待しています。

国文学研究法（'15）

放送大学教授
(人文学プログラム)

しまうち ゆうこ
島内 裕子



島内 裕子 教授

本を読むということは、ごく日常的で身近なことですが、文学作品を読むうちに、たとえば、この作品のすばらしさは、作者の個性なのか、時代性なのか、文化的な蓄積によるのか、他の作品や文学以外の諸芸術との関係性はどうか……。こういった問いかけが、湧き上がってきた経験はありませんか。これらのことは、研究的な観点の萌芽として、とても大切です。そして、自分の問いかけに、自分で答えを出してみたいと思った時、研究が始まります。この『国文学研究法』は、研

究テーマの立て方やテーマの絞り込み、研究の手順、問題意識の広げ方などに力点を置いていますので、研究論文を仕上げるまでのプロセスを、順を追って学ぶことができます。また、この科目の構成自体が、研究論文を書くためだけでなく、「文学とは何か」という思索へと通底していますので、日本文学に限らず、広く文学全般に興味をお持ちの皆さんにも受講していただけたら、幸いです。

人類文化の現在：人類学研究（'16）

放送大学教授
(人文学プログラム)

うちぼり もとみつ
内堀 基光

法政大学教授
(放送大学客員教授)

やまもと まどり
山本 真鳥



内堀 基光 教授



山本 真鳥 客員教授

全体としての人類の文化は、欧米や日本といった技術的・経済的先進地域から新興国、アフリカなどにおける最貧地域に至るまで、経済のグローバル化とITや携帯電話網の普及による均質化の力を強く受けながら、一方ではさまざまなローカルの特徴と職業や階層による特異性を増してもいます。この科目は大学院科目として、このような状況を分析する「文化人類学」の先端を伝えようとするものです。グローバル化を前にしたいわゆる伝統社会の文化的変容、科学者のコミュニティの

文化、先進国・

新興国・途上国にわたる技術文化の普遍性と個性的表出、産業の諸現場における人びとが形成する文化、男女という二分法を超える性文化の前線、あらたな宗教のうねりとその生活上における衝撃力、民族的（民俗的）芸術・芸能の表出の新展開など、きわめて多様な現象を扱います。また最後に、これらの現代的諸現象をまとめる基礎として、文化変容および文化進化に関わる先端理論の可能性を探る試みも行います。

昇任教授のお知らせ

2016年4月1日付にて、教授に昇任いたしましたのでお知らせいたします。



CONGRATULATIONS!

とがり たいすけ
戸ヶ里 泰典 教授

生活と福祉コース
(生活健康科学プログラム)



CONGRATULATIONS!

おおにし ひとし
大西 仁 教授

情報コース
(情報学プログラム)



CONGRATULATIONS!

たつみ たけお
辰巳 丈夫 教授

情報コース
(情報学プログラム)

専任教員所属コース変更のお知らせ

2016年4月1日付にて、所属コースが変更となりましたのでお知らせいたします。



苑 復傑 (えん ふくけつ) 教授

情報コース

心理と教育コース
(人間発達科学プログラム)



児玉 晴男 (こだま はるお) 教授

情報コース

社会と産業コース
(社会経営科学プログラム)

学生論文集「Open Forum 第12号」発行

教務課

刊行されて以来、反響をいただいているOpen Forum。このたび第12号を発行しました。本書は、2014年度の大学院修士課程修了生の修士論文を基にした論文集です。

放送大学大学院の学生たちは、どのような環境で、目標を立てて学んでいるのか？どのような形で教員の指導が行われているのか？学生の研究成果は？——Open Forumはこのような疑問に具体的にお答えする冊子です。各学習センターで閲覧できますので、ご興味のある方、修士課程への進学をお考えの方は、ぜひ手にとってご覧ください。また、各学習センター・本部（郵送のみ）においても販売を行っています。

通常価格 823円(税込) / 本学学生価格 658円(税込)



編集後記

2016年4月14日、熊本地方が大地震に襲われた。樹木に囲まれた熊本城の壁が一部倒壊する映像をみて、熊本大学の黒髪北地区キャンパスに立地する放送大学の熊本学習センターのことを思い出さずにはいられなかった。

熊本学習センターを訪ねたのは、2年前の面接授業に出講のためであった。元所長の崎元先生と職員方の温かい迎えを受けて恐縮したが、満員の教室で熱心な学生たちと2日間、楽しく過ごすことができた。授業の合間に、キャンパスに保存されている旧制第五高等学校の校舎を訪ね、旧制高校の学生像を見上げた。小道に入ると、嘗てここで教鞭を執った小泉八雲、夏目漱石の石像があり、秋の日差しがさす中で、教員組合が立てた旗がきらきらと目に映った。

教職員や学生の皆様はご無事だろうか。余震の続くなか、皆様のご苦労は想像にあまりあるが、一日も早く地震の余波がおさまリ、通常の生活に戻ることができるようにお祈り申し上げます。(編集委員・苑復傑)

ご意見やご感想をお聞かせください。メールアドレス editor@ouj.ac.jp

放送大学通信 オン・エア 編集委員(2016年度)

委員長 教授 岸根 順一郎
委員 教授 田城 孝雄

教授 苑 復傑

教授 児玉 晴男

教授 近藤 成一

教授 松井 哲男

准教授 芝崎 順司

オブザーバー 副学長 小寺山 亘

編集事務担当 総務部広報課



放送大学

<http://www.ouj.ac.jp/> ISSN 1343-3369